

教科書完全マスターシリーズ

文法解説の決定版 ついに登場！

教科書の予習・復習にぴったり！！

英文法の達人

< 中学 3 年 >

無料ダウンロード版



考える学習をすすめる会

あさひ学習自由区 塾長 石田 和彦 著

考える学習をすすめる会

<http://www.kangaeru.org>

は・じ・め・に

本シリーズは、その名の通り教科書を完全にマスターすることを目的とした、**基本重視**のテキストです。市販の解説書・参考書にくらべて、**圧倒的に分かりやすく**いていねいな説明に心がけ、**じっくり読むだけで教科書英文法のすべてが分かる自習用テキスト**を目指しました。

もちろん、考える学習をすすめる会のテキストですから、丸暗記やパターン練習ではなく、**文法用語の理解・英文の組み立てや語順の理解**を重視しました。覚えるだけでは決して身に付かない、本物の英語力を養うことができます。

本書の特徴は、**解説が3段階**に分かれていること。

解説 [基礎編]・・・各文法項目の理解に必要な基本的内容が、くわしく、わかりやすく説明してあります。英語(文法)がニガテな人もそうでない人も、必ずキチンとお読みください。

解説 [練成編]・・・基礎編をベースに、より**実戦的な内容**になっています。ここまでがマスターできれば、**教科書レベルの文法問題はバッチリ**です！

解説 [上級編]・・・英語の「なぜ？」に**鋭く迫った**、少しマニアックな解説です。**フツ**の解説では物足りない人の**知的な好奇心**を満たしてくれるでしょう。

カレーに例えると、**甘口(基礎編)**、**中辛(練成編)**、**辛口(上級編)**です。一人ひとりのレベルに合わせて、無理なくご使用ください。

では、本書を十二分に活用し、**英文法の達人**を目指してください！！

このテキストの使い方

1．まずは【例文】を熟読^{じゅくどく}し、文の構成をしっかりと確認してください。

なお、例文を自然な日本語には訳^{やく}していません。英語の語順どおりに、単語の意味だけで理解するようにしましょう。

英文の骨格となる、主語はS、動詞はVで目立たせてあります。

2．次に、解説【基礎編】をじっくりと読んでください。解説の、 、... は、それぞれの例文の番号を表します。

3．できれば、解説【練成編】まではマスターできるように。解説【上級編】については、余力^{よりよく}のない人は、すっ飛ばしてもかまいません。

4．最低でも2回は繰り返して読んでください。1回読んだだけですべて理解できれば誰^{だれ}も苦勞^{くろう}しませんよ。

5．このテキストは解説中心のため、練習問題が収録^{しゅうろく}されていません。本書で理解した事柄^{ことがら}を確認するため、手持ちの教科書用ワークブックなどを使って問題を解いてみましょう。

目 次

1 . 現在完了〔継続〕	-----	P 1 ~ 13
2 . 現在完了〔完了〕	-----	P 14 ~ 18
3 . 現在完了〔経験〕	-----	P 19 ~ 26
4 . 不定詞構文 ()	-----	P 27 ~ 36
5 . 第 5 文型 ()	-----	P 37 ~ 38
6 . 第 5 文型 ()	-----	P 39 ~ 46
7 . so ~ that の文	-----	P 47 ~ 49
8 . 不定詞構文 () too ~ to	-----	P 50 ~ 52
9 . 現在分詞の後置修飾	-----	P 53 ~ 59
10 . 過去分詞の後置修飾	-----	P 60 ~ 65
11 . 接触節の後置修飾	-----	P 66 ~ 74
12 . 関係代名詞・主格 (1)	-----	P 75 ~ 79
13 . 関係代名詞・目的格 (1)	-----	P 80 ~ 84
14 . 関係代名詞・主格 (2)	-----	P 85 ~ 97
15 . 関係代名詞・目的格 (2)	-----	P 98 ~ 115
16 . 不定詞構文 ()	-----	P 116 ~ 122
17 . 間接疑問文	-----	P 123 ~ 131
18 . 不定詞構文 ()	-----	P 132 ~ 136

1 . 現在完了〔継続〕(1)

中3最初の文法事項は、**現在完了**。いきなり、中学3年間で**最も難しい**とされる文法項目の1つが登場します。「完了時制」という、**日本語にはない概念**を扱うのですから。

フツの解説だと覚える量が圧倒的に多く、**理解を伴わない丸暗記**になってしまう危険があるので、全く違った角度からアプローチしてみましょう。この方が、**現在完了の本質**を理解しやすいので。

まずは、「**現在完了**」という日本語から。「完了」とは「(動作などが)完全に終わること」。つまり、「**終わってしまったこと(過去のこと)が、現在、何らかの影響を持っている**」のが現在完了なんです。

...と、これだけじゃあピンとこないので、具体的に。現在完了の文の骨格は、

**have
has + 過去分詞**

フツは、これらをセットにして3通りの意味・用法に分類されるのですが、それだと「**覚えるだけの学習**」になってしまいます。ここでは **have・has** と **過去分詞** をバラした上で、現在完了の文の組み立てと意味を理解するのに必要最小限の解説を加えておきます。

have・has

今まで通り「**持っている**」という意味にします。have と has の使い分けはダイジョーブですよ？ **主語が三人称単数**(男1人,女1人,物1個と数えられない物)のときは has , それ以外のときは have を使います。

過去分詞

受動態のときに出てきましたね。動詞が語形変化したもので、**過去分詞は文中の動詞になれない**という点は変わらないのですが、**同じ過去分詞でも、受動態と現在完了とでは、意味・用法がまるで違います。**

受動態……主語が「**～され(ている)**」という**状態**を表す。**形容詞と同じはたらき。**

現在完了……現在完了の過去分詞は、「**主語が、過去のある時点で行った動作**」を表す特別な用法。
「**～したという事実**」と、**名詞**のように扱う。

したがって、**have・has + 過去分詞**で表される現在完了の文は、

「過去分詞によって表された動作が、過去のある時点で起こった。それを現在(大事に)持っている」

という意味になります。

ここで注意しなければならないのは、ウェイトは、「**過去の事実**」ではなく、「**現在、持っている**」に置かれているという点。現在完了って、**過去を含んだ「現在」**なんです。

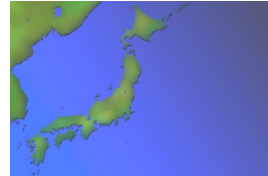
^{まえせつ}前説の最後に、実際の英文を。

	「	現在完了	」	
S	V		過去分詞	
I	have	studied		English.
私は	持っている	勉強したという事実を		英語を。

単語の意味だけで、何となくわかりますか？ マア、わからなくても気にしないで【例文】へ行っちゃってください(ヲイ)。

【例文】

S V 現在完了 過去分詞
 I have lived in Japan for
 私は 持っている 住んでいたという事実を ~の中に 日本 ~の間
 「ずっと住んでいる」
 three years.
 3 年たち。



S V 現在完了 過去分詞
 Tom has been here since yesterday.
 トムは 持っている いたという事実を ここに ~以来 昨日。
 「ずっといる」

解説 [基礎編]

本来なら「住んでいたという事実を 持っている」で^{とど}めておきたいのですが、どうしても自然な日本語に直したいときは、

過去のある時点で、live in Japan という動作が起こった。
それを、現在も大事に持っている。



となると、過去において「住んでいた」だけでなく、今でも「住んでいる」んだろう。



と考え、**ずっと住んでいる**とします。このように、**過去に起こった動作が**

現在も続いている状態を表す現在完了の用法を「**継続**」といい、「**ずっと~している**」と訳されます。

では、継続(「ずっと~している」と判断した**根拠**は...? 後に続く, “for three years”の部分からです。

この **for** は「~の間」という意味になり, 「~」には(過去分詞で表された)動作・状態が継続している**期間**を表す語(句)が来ます。そのため, 「ずっと~している」と訳せちゃうわけです。

been は be の過去分詞。「be 動詞」の be ですから, 意味は「~です, いる・ある」がベースになります。では「いる」ですが,

	「	現在完了	」					
S		V		過去分詞				
We		have		been		busy	for	a week.
私たちは		持っている		だったという事実を		忙しい	~の間	1つの 週。
		「		ずっと~です	」			

のようにもなります。

も 同様, 「継続」なわけですが, これは, “since yesterday”のせいです。since ~で「~以来」という意味(since の意味を「~から」とすると, from との区別が付かなくなるのでやめましょう)。「~」には, (過去分詞で表された)動作・状態が始まった**起点**を表す語(句)が来ます。「以来」とくれば「ずっと~している」と訳さざるを得なくなっちゃいますね。

for や since は, 現在完了の用法が「継続」であることを**見分けるためのキーワード**扱いです。私としては同意できません。これについては23~24 ページで。

解説 [練成編] 時制について

現在完了の例文が一段落したところで、「時制」についての理解を深めておきましょう。

時制とは、**時**を**制**度化したもの。「制度化」と言えば大げさですが、「時」にこだわる英語では、そのくらいの「重み」があると思ってください。

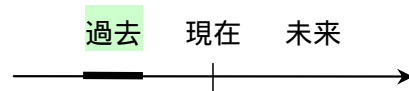
中2までで習った時制は、下の3つ。これらは、わりとイメージしやすいですよ。



ところで、「過去を含んだ現在」である現在完了って、どーなってるんでしょうか？ 過去・現在の2つの時制と比べてみましょう。

過去時制 (例) He **lived** in Nagano last year.

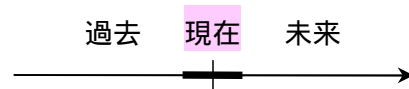
過去形で表された動作(行為)を、**過去に起こったできごと**として述べています。



上の例文からわかることは、「彼は去年、長野に住んでいた」ことだけ。**現在どこに住んでいるかはわかりません。**

現在時制 (例) He **lives** in Nagano.

現在行っている行為・その気になればいつでもできる動作を表します。過去と未来も、多少含まれている点に注意してください(瞬間的な動作は、**進行形**で表します)。

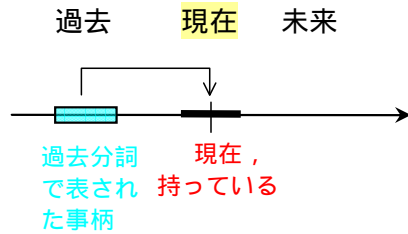


5 ページの例文からわかることは、「彼は現在，長野に住んでいる」ことだけ。**過去においてどこに住んでいたかはわかりません。**

現在完了時制 (例) He **has lived** in Nagano since last year.

過去に起こった事柄が，**現在と何らかのつながりを持っています。**

過去に起こったできごとを，**現在，「思い出として大事に持っている」，「振り返って見ている」**ような感じです。



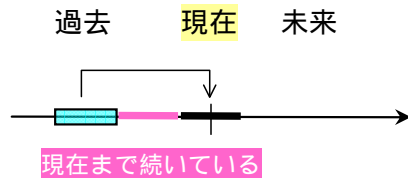
注意しなければならないのは，**メインはあくまで「現在持っている」の部分である**ということ。現在完了って「**現在時制のバリエーション**」なんです。

上の例文からわかることは，

過去のある時点で，live in Japan という動作が起こった。

その事実を，現在，大事に持っている。

の2つ。live のように「(過去に起こった)^{じぞく}持続性がある動作」を今でも「**持っている**」ということは、「**今でも続いている**」，すなわち「**継続している**」と判断するんですね。



解説 [練成編]

続けて実践的なトレーニングを。まずは、下の問題を見てください(解説を隠して、自力でチャレンジしてみてください)。

次の各組の文がほぼ同じ意味になるように、_____に適切な語を書きなさい。

{ Yuka became sick last week. She is still sick now.

{ Yuka _____ sick _____ last week.

{ John came to Japan two years ago. He lives in Japan now.

{ John _____ in Japan _____ two years.

_____が多くて、文の全体像がつかみにくい問題です。けれども、6 ページが理解できた人は、「**現在完了の問題だ!**」ってすぐに見抜けますよね?

・ とも、前の文で起こった「過去のこと」が、後の「現在のこと」を述べた文とつながりを持っており、しかも、**継続している**んです。

この点を意識して、現在完了の英文を組み立ててみましょう。

主語 Yuka の後は **has**。次に**過去分詞**が来るわけですが、「ハテ、何の過去分詞を使うのかなあ?」なんて悩みますよね。

単語力の乏しい人とな~んにも分かっていない人は、「**stilled**」などと**わけのわからんモノ**を書きます。stillの意味は「今でも」。動詞でもないのに過去分詞にできるわけないでしょ!!

じゃあ、「became(become)の過去分詞なのか、is(be)の過去分詞なのか？」
迷わず、**現在で書かれている方の動詞を過去分詞にしてください。**

過去形	現在形
Yuka became sick last week.	She is still sick now.
~になった	です
↑	↑
こっちはボツ	過去分詞 been に

過去分詞は「過去に起こった事実」を表し、それを「(現在)持っている」
のですから、過去形の方を使いたくなる人もいるかと...

けれども、現在完了は、あくまで「現在」にウェイトが置かれています。
**現在持っているのは「病気になる」という動作ではなく「病気である」の部
分なんです。**だから、現在形の方を過去分詞にするんです。

ところで、3本目の_____には“since”が入ります。“last week”は起点
を表していますから。4ページでもう一度確認しておいてください。

Yuka **has been** sick **since** last week. ... 答え

と同様に考えます。現在持っているのは「来る」ではなく「住んでいる」
という動作ですから、liveの過去分詞を使います。

“two years”は「期間」を表しているので、3本目は for です。よく
「for と since の使い分けがわからない」という人がいますが、**後に来る語句
の意味と照らし合わせて考えれば楽勝**でしょ。

John **has lived** in Japan **for** two years. ... 答え

1 . 現在完了〔継続〕(2) 疑問文・否定文

「新しいタイプの文」が登場すると、次に、その疑問文・否定文への書きかえを学びます。

現在完了では、have・has を使っているにもかかわらず、疑問文・否定文の作り方が**一般動詞のときとは違ったパターン**になります。

【例文】

	┌ 現在完了 ─┐			
S	V	過去分詞		
0 You	have	studied	English for a	
あなたは	持っている	勉強したという事実を	英語を ~の間	1つの
	┌ ずっと勉強している ─┐			

long time.

長い 時間。

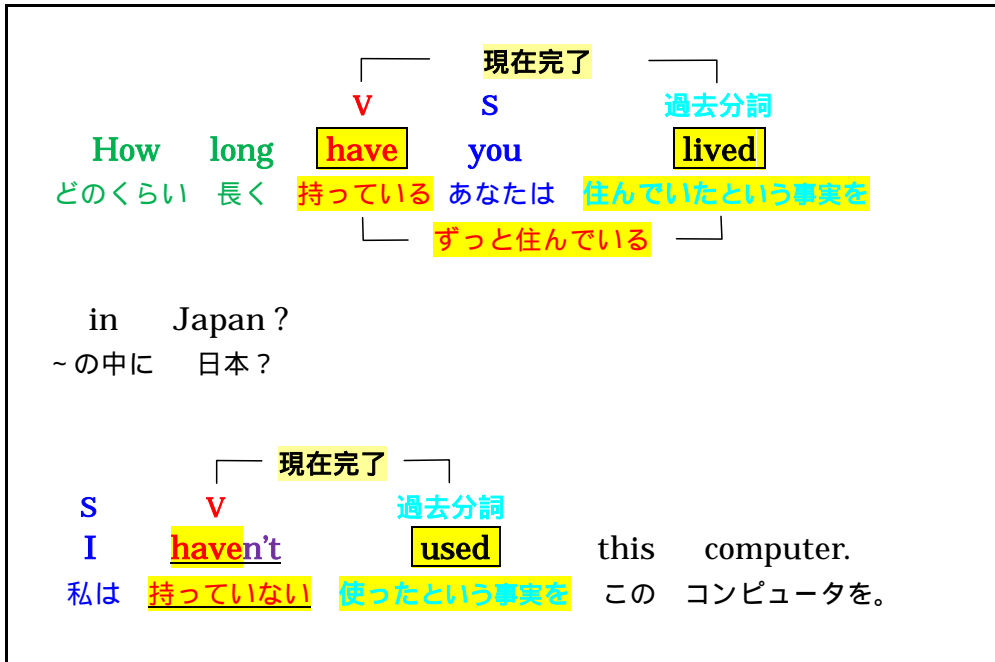
	┌ 現在完了 ─┐			
V	S	過去分詞		
Have	you	studied	English for a	
持っている	あなたは	勉強したという事実を	英語を ~の間	1つの
	┌ ずっと勉強している ─┐			

long time ?

長い 時間 ?

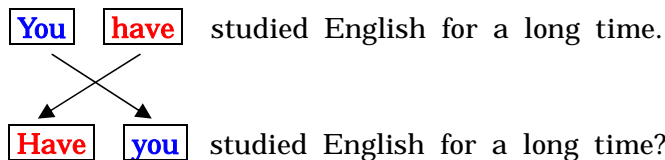
	S	V		
Yes,	I	have.	/	
はい、私は		持っている。		

	S	V
No,	I	haven't.
いいえ、私は		持っていない。



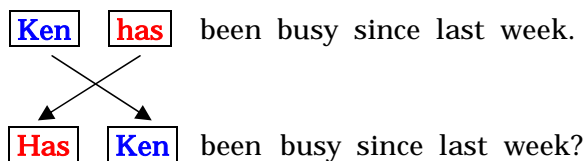
解説 [基礎編]

o を疑問文に書きかえたものです。見ての通り，



be 動詞や助動詞のように，have を前に出して，主語(主部)と入れかえます。
Do you have ~ ? の形にはなりません。

has の場合も同様に，



に対する答えの文です。have で聞かれたら have を使って答えていますね。haven't は、have not の短縮形です。

Has Ken been busy since last week? の場合も同様に、

Yes, he **has**. / No, he **hasn't**.

と答えます。hasn't は、has not の短縮形です。

意味的には、haven't (have not) , hasn't (has not) で、「持っていない」としておきましょう。

(継続の)期間をたずねる疑問文です。how long をセットにして「どのくらい」と訳されますが、これでは **long の意味が死んでしまいます**。例文にあるとおり、「どのくらい 長く」と、単語1つ1つの意味で理解しましょう。

次に、下の書きかえ問題を考えてみてください(解説を何かで隠し、自力でチャレンジしてみてください)。

Kumi has lived in Tokyo for five years. (下線部をたずねる疑問文に)

下線部“for five years”「5年間」が分からないときは、**期間についてたずねる**ことになりますから、**How long** で始まる疑問文

How long has Kumi lived in Tokyo?

が正解です。

現在完了の否定文です。疑問文と同じく、do(es)n't は使わず、have・has の直後に not を入れます。

一応、例文ということで載せてはおきましたが、継続を表す現在完了にお

いて、否定文はほとんど使われません。

解説 [上級編] have の品詞について

このテキストでは、現在完了の **have(has)** を、今までどおり「**持っている**」という意味とし、**一般動詞**として扱っている。

でもね。一般的な解説では、現在完了の **have(has)** は**助動詞**ということになっている。理由は、9 ページの例文のように、**疑問文(や答えの文)・否定文の作り方が助動詞と同じだから**。

が、私はこの説に反対だ。最大の理由は、

have(has)を助動詞にすると、現在完了の文中に動詞が存在しなくなるから。

S 助動詞 **過去分詞**

I have lived in Japan.

繰り返すが、**過去分詞は「文中の動詞」になれない**。主語があるのに動詞がないなんておかしいじゃん！

「助動詞派」の人々は、苦し^{まぎ}紛れに、「**have (has) + 過去分詞で『述語動詞』になる**」とこじつけているが、**助動詞も過去分詞も、動詞としての資格は^{ゼロ}0**。0+0が1になるわけねーだろ！！

have(has)を一般動詞とすれば、このような矛盾^{むじゆん}は生じない。**have (has)**の意味を「**持っている**」、**過去分詞**を「**過去に起こった事実**」と考えればいいではないか！

ところで…。 You have a book. を疑問文・否定文に書きかえると、ど
ーなると思う？

[疑問文] **Do** you have a book ?

[否定文] You **don't** have a book.

に決まってるよね？

ただし、これは**アメリカ英語**の場合(学校教育では、アメリカ英語を基準と
している)。**イギリス英語**では、have・has だけを他の一般動詞と区別し
て、

[疑問文] **Have** you a book ?

[否定文] You **haven't** a book.

という形もアリなのだ！ こうなると、「**have(has)は助動詞である**」と
する根拠こたげは大いに弱くなる。英語に限らず、ヨーロッパ系の言語では「**持
っている**」という意味の**一般動詞は特別扱いする**のだ。

…と主張してみたものの、「have(has)は一般動詞である」とする意見
は、残念ながら少数派だ。ガッコや参考書に「助動詞である」という解
説があったら、「ああ、これか」と「納得」なっとくしておいてください(><)。

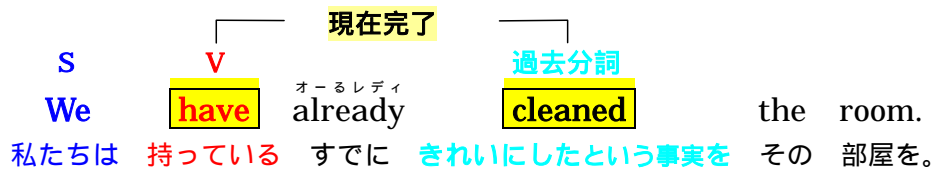


2 . 現在完了〔完了〕

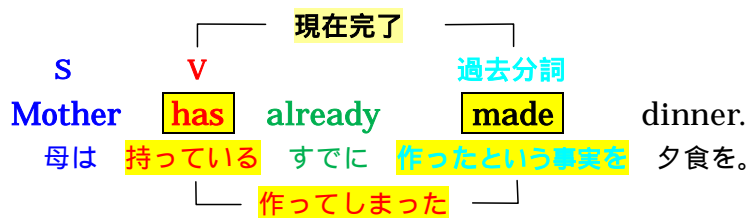
続けて、現在完了なのですが...

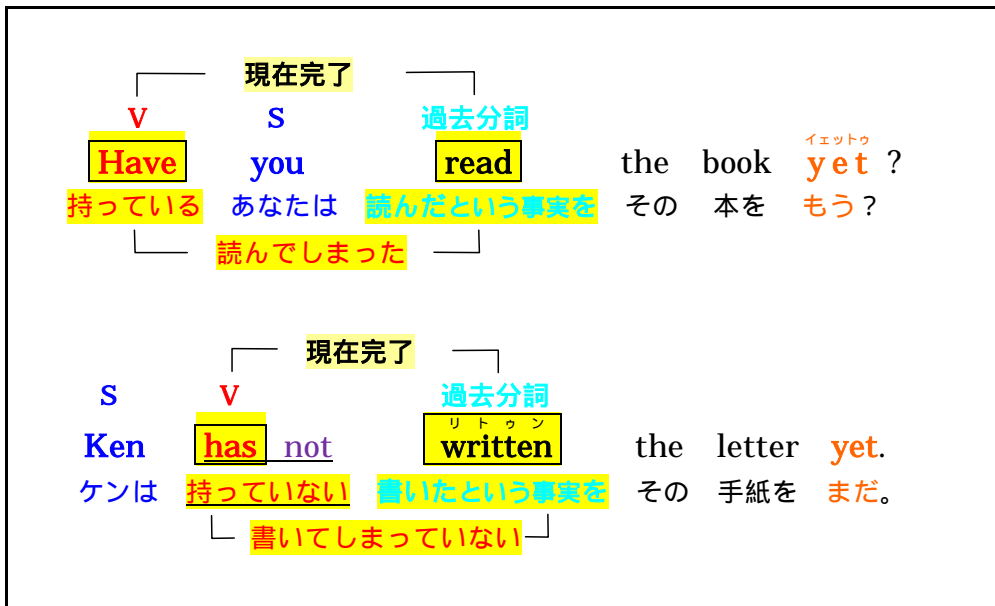
前のセクションと「**同じ現在完了**」であるのに、**意味の解釈が違**^{かいしやく}**う**というだけの理由で、**別の用法として**登場するんです。

例文を読む前に、下の英文の意味を考えてみてください。**have + 過去分詞**を「**持っている ~したという事実を**」で統一^{とっいつ}しておけば、意味・用法を細かく区別する必要がないことがわかってもらえると思うのですが...



【例文】

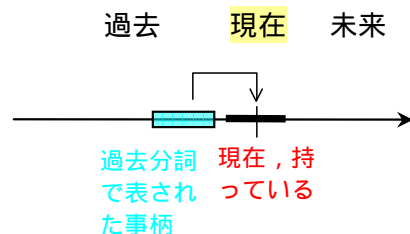




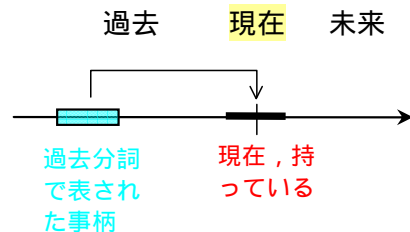
解説 [基礎編]

- ・ は、「宿題を終えたという事実を持っている」
は、「夕食を作ったという事実を持っている」
が本来の姿^{すがた}なのですが、have と過去分詞の間にはさまった **just** や **already** によって、解釈が限定されてしまいます。具体的には、

just 「ちょうど」、
過去分詞によって表された動
作が**終わった直後**。



already 「すでに、もう」
過去分詞によって表された動
作が**かなり前に終わっている**。



そのため、

- …… ほんの少し前に、「宿題を終えた」という事実があり、それを現在、持っている 「～したところだ」
- …… だいぶ前に「夕食を作った」という事実があり、それを現在、持っている 「～してしまった」

^{かくだい}と拡大解釈されるわけです。

このように、**過去分詞で表された動作が、「終わっている(完了している)」**^{かんりよう}
という点にウェイトを置いた現在完了の用法を「完了」といい、「～したところだ」、「～してしまった」と訳されます。「継続」とは区別されてしまいます。

なお、この用法の現在完了の意味を「～し終わった」とする解説を見かけますが、これでは**“finish ~ing” との区別がつかなくなります**。間違ってもこんなふうに覚えなくてくださいね。

- ・ ^{ぶんまつ}文末の **yet** に注意してください。

のような疑問文中では、「**もう**、**すでに**」

のような否定文中では、「**まだ**」

という意味になります。いずれも、完了を表す現在完了の文中でよく用いられます(**肯定文で「すでに」というときは already を使います**)。

の written は、write の過去分詞です。



解説 [練成編]

ココまで、やや盛りだくさんになってしまいましたが、14～16 ページの内容が頭に入りましたか？ ダイジョーブな人は、下の並べかえ問題にチャレンジしてみましょう。

日本語の意味に合うように、()内の語句を並べかえなさい。

(already / at / we / arrived / have) Tokyo Station.

私たちは、もう東京駅に着いてしまった。

(breakfast / yet / have / had / you) ?

あなたは、もう朝食を食べてしまいましたか？

、とも、**already, yet** の文中での位置が問題となります。

already, just は、**have** と過去分詞の間

yet は、文の終わり

というのが**定位置**なんですけど、英文法の達人 中2版でも述べたように、これらの副詞は、**語順の拘束**を受けない場合が多く、**自由度が高い**んです。極端な話、ホントは「**文中のどこに置いても間違えじゃない**」とさえ言えます。

けれども、テストなどでは、定位置に入れないと**バツにされてしまいます**。マア、ここで文句を言っても仕方がないので、以下、**already, yet** を原則的な位置にしたものを「**模範解答**」とします。

主語 We の後は「**have + 過去分詞(arrived)**」と行きたいところですが、**already** は **have** と過去分詞の間に割り込んで入るのが原則ですので注意してください。

残った at は、「～に」という意味で，“at Tokyo Station” と続きます。

We have already arrived at Tokyo Station. … 答え

カッコ内に “have” と “had” がありますが、ゴッチャにならないように。
have は現在完了用の**動詞**，**had** は一般動詞 have の**過去分詞**です。

疑問文になっていますから，“Have you ~ ” で始まります。yet の定位置は文末です。

Have you had breakfast yet? … 答え



3 . 現在完了〔経験〕

さらに現在完了が続きます。例によって、同じ現在完了なのに「別の用法」として....。

こんな感じなんです。

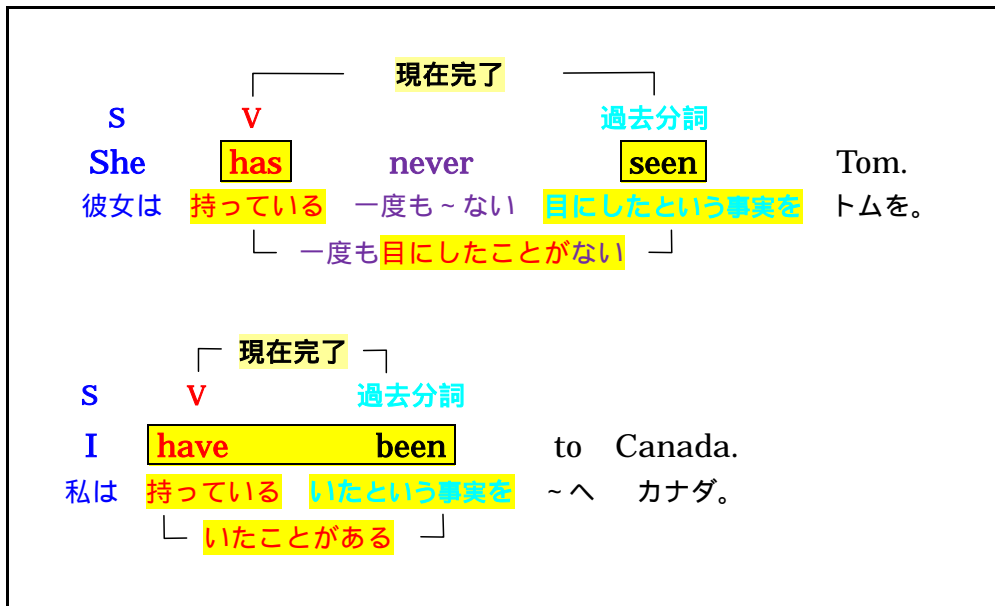
	「 現在完了 」			
S	V	過去分詞		
I	have	eaten <small>イートゥン</small>	caviare	once.
私は	持っている	食ったという事実を	キャビアを	1回を。

さて、今度はどのように「拡大解釈」されるのでしょうか？ このままだでも十分意味は通じると思うのですが....。

【例文】

	「 現在完了 」			
S	V	過去分詞		
They	have	visited	Nara	three times.
彼らは	持っている	訪れたという事実を	奈良を	3 回たち。
		「 訪れたことがある 」		

	「 現在完了 」			
V	S	過去分詞		
Have	you	ever	read	this book ?
持っている	あなたは	今までに	読んだという事実を	この本を？
		「 読んだことがある 」		

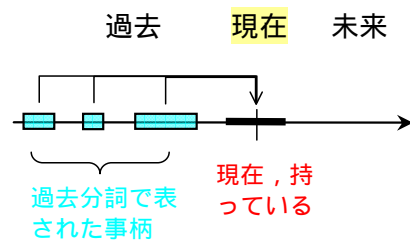


解説 [基礎編]

「過去に奈良を訪れたという事実を持っている」が本来の^{すがた}姿なのですが、文末の **three times** 「3回」によって、**解釈が限定されてしまいます**。過去に何かをしたという事実を、その動作(行為)の「経験」ととらえるんです。

なお、回数を表すときは、

- 1回 once
- 2回 トゥワイス twice
- 3回以上 ... 数字 times
(3回は three times
4回は four times)



のような語(句)を使います。

このように、**過去分詞で表された動作(行為)**を「**経験したこと**」ととらえた**現在完了の用法**を「**経験**」といい、「**~したことがある・ない**」と訳されます。「継続」や「完了」とは区別されてしまいます。

現在完了の疑問文ですが、過去分詞の前にある **ever** に注意してください。「**今までに**」とくれば、**経験の有無をたずねる**ことになりますね。

過去分詞の前にある **never** は、**強い否定を表す語**です。「決して~(し)ない」という意味ですが、経験を表す現在完了の文では「**一度も~ない**」と訳され、その経験が全くないことを表します。

フツーは、**have been to ~**をセットにして、「**~へ行ったことがある**」と熟語扱いされます。

けど、ちょっと待ってください。「行った...」とありますが、**go「行く」の過去分詞なんてどこにも使われてない**じゃないですか！（go の過去分詞はgone^{ゴーン}）

個人的には、熟語扱いすることさえ反対なんですけど、例文のように、せめて「いたことがある」に**とど**めておいてください。been は be「いる」の過去分詞なんですから。

解説 [練成編]

「経験」を表す現在完了についても、実戦的なトレーニングをしておきましょう。相変わらず情報量が多いですから、19 ページからここまでをよく読んでからアタックしてみてください。今回は「書きかえ問題」です。

次の文を()内の指示に従って書きかえ, _____に1語ずつ書きなさい。

I saw the bird. (「1回見たことがある」という文に)

I _____ the bird _____ .

He read this book. (「一度も~したことがない」という文に)

He _____ this book.

You used the computer. (「今までに~したことがありますか」という文に)

_____ you _____ the computer?

Mr Green went to Kyoto. (「京都へ行ったことがある」という文に)

Mr Green _____ to Kyoto.

経験を表す現在完了となりますから, 1本目の_____には **have**, 2本目には see の過去分詞 **seen** が来ます。

3本目は once 「1回」ですが, 正しく書けるようにしておいてください。

I **have seen** the bird **once**. … 答え

同じく, 現在完了(経験)の文になりますので, 主語 **he** の後は **has** です。
read^{リードゥ}の過去分詞はread^{レッドゥ}ですけど, ダイジョーブですか?

ただし, その前に never 「一度も~ない」が割り込んで入ってきますので, 語順に注意してください。

He **has never read** this book. … 答え

今度は疑問文としての語順になりますから，1本目は主語と入れかえで前に出た **Have**。use の過去分詞は **used** ですが，やはりその前に ever「今までに」が割り込んで入ります。

ever, never 等，テストなどでは頻繁^{ひんぱん}に出ますから，正しいスペルで書けるように。

Have you **ever used** the computer? … 答え

フツーの問題なので，「～へ行ったことがある」とセット扱いされちゃっています。迷わず，**has been** と続けましょう。

21 ページにもあるように，文中の“went”に惑^{まど}わされて，「go の過去分詞を…」などと思わないように。

Mr Green **has been** to Kyoto. … 答え

以上，すべて経験を表す現在完了がネタになっていますが，他の問題に混じって出題されても見抜けるように。

解説 [練成編] 「キーワード」について

ここまでの，3通りの現在完了の用法が出揃^{そろ}いましたので，まとめ的な解説を。

参考書や解説書の多くは，それぞれの用法の「決め手」となる語(句)を，**現在完了の意味・用法を見分けるためのキーワード**として重視しています。

継続 「ずっと～している」

for ～ 「～の間」, **since** ～ 「～以来」, **How long**? 「どのくらい(長く)」

完了 「～してしまった」「～したところだ」

just 「ちょうど」, **already** 「すでに」, **yet** 「もう(疑問文), まだ(否定文)」

経験 「～したことがある・ない」

～ **times** 「～回」, **ever** 「今までに」, **never** 「一度も～ない」

のように…。「**大事だから覚えておけよ～**」と言われた人も多いのではないのでしょうか。

私から見たら、これらは**キーワードでもなんでもありません!** むしろ、**現在完了の文をせまい意味に封じ込めるための足枷です!**

単語の意味をキチンと覚えるのは**当たり前**のこと。現在完了の文中で多く使われるからといって、特別扱いは理由なんてどこにもないのです。

ナニナニ? 「**キーワードがないと現在完了の用法が分からないから、意味がつかめなくなる**」って? 「**キーワード重視**」の説明に**毒**されているようですね。

そーゆー人は、次の**上級編**を読んで、目を覚ましてください。



解説 [上級編]

教える側も教わる側も、現在完了は**3通りの意味・用法に分類するのが当たり前だ**と思っている。そのため、24ページの「キーワード」は、用法を見分けるための有力な手掛かりということになっている。

私は、この「常識」に^あ敢えて疑問を呈^{てい}したい。

実際の英文において、**キーワードが存在しない現在完了の文なんて、いくらでも存在するんだぜ!** テストや入試でこんなのが出てきたらどーするの? 例えば、

I have studied French. French フランス語

見ての通り、「キーワード」がない。そのため、

「ずっと勉強している」、「勉強してしまった」、「勉強したことがある」のどれなんだろう?

などとムダに悩^{なや}む人がいる。お気の毒に...

なんで、そんなに^{かた}型にはめようとするわけ? この文は、

I have studied French.
私は 持っている 勉強したという事実を フランス語を。

と言っているだけ。「過去にフランス語を勉強したという事実を、現在持っている」のだ。これだけで意味は分かるでしょ。

たまたま、

ア．今でも勉強しているのなら、継続

イ．いったん勉強を終えたのなら、完了

ウ．過去の動作(行為)を「体験した」ととらえたのなら、経験

なんて感じに分類されちゃうんだよね。よせばいいのに…。

^{じょうきょう}状況によって意味が変わるわけではない！！ ^{かいしゃく}解釈が変わるだけだ。キーワードがあることで、よりせまい絞^{しぼ}り込みが可能になるというだけの話で、それが現在完了の本質というわけではないのだ。

現在完了は3通りの意味・用法に分類するのが当たり前という古い常識^すは捨てよう！ そして、すべての現在完了を、

「過去分詞によって表された動作が、過去のある時点に起こった。それを現在(大事に)持っている」

という、現在完了本来の姿^{どういつ}で統一しよう。「ムリに細かく分類し、覚えなければならない事柄^{ことがら}をムダに増やす」必要なんてどこにもないのだから。



無料ダウンロード版はココまでです。
続きは有料版をごらんください。